

2023年5月20日

外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「中部国際医療センターにおけるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術(RARP)
の治療成績についての検討」への協力をお願い

当院では過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

① 研究の対象

2011年4月から2023年4月までに前立腺癌に対し当院でRARPを施行された患者様

② 研究期間

倫理委員会承認日から2024年3月31日

③ 研究の目的・方法

2012年4月から前立腺癌に対するRARPが保険適応となり、現在では前立腺癌に対する標準術式となっています。当院では2011年4月から治療を開始し現在まで実施した症例は400例を超えています。今回自施設での治療成績を、カルテ情報をもとに後方視的に検討し解析します。具体的には年齢、PSA値、病期、病理検査結果、手術時間等の項目を抽出し全生存期間、生化学的再発期間等を検討します。

④ 研究責任者

亀山 紘司 所属 中部国際医療センター 泌尿器科

⑤ 共同研究者

水谷 晃輔 所属 中部国際医療センター 泌尿器科

亀井 信吾 所属 中部国際医療センター 泌尿器科

横井 繁明 所属 中部国際医療センター 泌尿器科

石原 哲 所属 中部国際医療センター 泌尿器科

出口 隆 所属 中部国際医療センター 泌尿器科

研究への参加辞退をご希望される方へ

本研究に関して新たに患者様に行っていただくことはありません。また、ご自身に新たに費用が発生することはありません。本研究に関する質問等がありましたら、以下の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には、研究の対象といたしませんので、以下の連絡先まで申し出ていただけますようお願いいたします。なお、本研究は中部国際医療センター医学研究等倫理委員会の承認を得ております。また、この研究の参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当病院における診療・治療において不利益をこうむることはありません。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりうる利益相反」は存在しません。

連絡先

中部国際医療センター 泌尿器科

電話番号 0575-66-1100 (内線 7611)

責任者氏名：亀山 紘司